

小論文テーマ一覧

国公立大学／一般入試／社会科学系統

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
旭川市立大・保健福祉 コミュニティ福祉(前)	和	文	社, 医	地域をつくるのは専門家ではなく地域住民であることを論じた文より, 今後の望ましい地域医療などを述べる。(1000字)
北海道大・法 法学(後)	和	文	経, 社	移民を論じた文より, 移民は豊かな国の賃金水準を下げて住民を苦しめるという見解への評価などを述べる。(750字)
	和	文	法	外国の大使館や外交官に治外法権が認められているかを論じた文より, これが誤りであることなどを説明する。(800字)
北海道大・経済 (後)	和	文	医	医療の価値を向上させる競争や医療における測定基準を論じた2つの文より, 医療のあり方などを述べる。(1600字)
弘前大・人文社会科 社会経営(後)	和	文	人	商品交換と贈与の区別を論じた文より, それらを区別する「きまり」が必要な理由について考えを書く。(800字)
	和	文	人	日記を読み解こうとする営みは未来を志向する創造的な生命活動だという文より, 日記について考えを論じる。(800字)
岩手大・人文社会科 地域政策(後)	和	課	経, 社	観光によって地域活性化や経済復興をめざす取り組みが全国的に展開されていることについて, 考えを述べる。(800字)
	和	文	社	報道内容は事実でも大きな視野でみると偏りや疑問が出てくるという文より, 報道のあり方などを述べる。(850字)
岩手県立大・社会福祉 (後)	和	文, 統	人, 教育	支援は相手中心で管理は自己中心の行動様式だという文と表より, 生徒への管理と支援の必要性などを述べる。(930字)
宮城大・事業構想学群 (前) (後)	和	文, 統	人	居場所の要素・若者の相談相手などを示す文と図表より, 若者の望む居場所づくりの課題や解決策などを書く。(1050字)
	和	文, 統	経	花や緑の生産・流通・販売に関する文と図より, 消費者による切り花の購入を促進するための提案などを書く。(1000字)
秋田大・教育文化 地域文化(後)	和	文	社	東日本大震災の数年後の被災地の実情を述べた文より, 土地の開発がもたらす矛盾の例と対処法などを論じる。(900字)
秋田大・国際資源 国際資源(資源政策)(後)	和	文	環	海洋プラスチック汚染の原因や漂流物の構成を述べた文と図より, 日本海側のごみが多い理由などを論じる。(470字)
国際教養大・国際教養 国際教養(C)	英	文	人, 教科	人類の将来によい影響を与えることが道徳的優先事項だという英文より, 自身の取り組みについて考えを書く。(300字)
山形大・人文社会科 人文社会科(総合法律・地域公共政策・経済マネジメント)(後)	和	文	政, 社	政治の観点からみた際のジェンダー格差を述べた文より, 女性議員が少ない事実から生じる問題点などを書く。(650字)
福島大・人文社会学群 行政政策学類(前)	和	文	人, 社	強い制度志向と倫理のアウトソーシングに対する筆者の違和感を述べた文より, 問題の所在などを説明する。(1200字)
経済経営学類(前)	和	文, 統	人, 政	幸福への関心の高まりを論じた文と図より, 個人の幸福を実現するために必要な公共政策などを述べる。(1200字)
行政政策学類(後)	和	文	人, 環	公害経験の継承の難しさを論じた文より, 公害経験の継承について歴史実践の観点から考えなどを書く。(1100字)
経済経営学類(後)	和	文	人, 経, 社	人類は決して繁栄できないという説を考察する文より, その説が成り立たない世界について考えなどを書く。(1200字)
宇都宮大・国際 国際(前)	和	文	社	メディアリテラシーの実践における課題を述べた文を要約し, 筆者の主張に対する意見を例を交えて論じる。(1200字)
宇都宮大・地域デザイン科 コミュニティデザイン(前)	和	統	文, 社	訪日外国人旅行者が旅行中に困ったことを示す図より, 外国人旅行者が円滑に旅行するための対策などを書く。(1000字)
埼玉大・経済 経済(前/国際) 経済(後)	和	文	教育	国内外の少人数級政策を考察する文と2つの図より, 日本における少人数教育導入に関する考えなどを書く。(1000字)
	和	文	人	人が数字に縛られるとその行為からは利他が抜け落ちるといふ文より, 考えられる途上国支援などを述べる。(600字)
お茶の水女子大・文教育 人間社会科(後)	和	文	人	人間の共感に基づく援助行動や心理を説明する文より, 援助行動に限界が生じる理由や克服方法を論じる。(1000字)
東京都立大・法 法(後)	和	文	政, 社, 科	A Iが選挙に活用され始めているという文より, A Iは民主主義を成熟させるか形骸化させるか考えを書く。(800字)
東京都立大・経済経営 経済経営(後)	和	文	経	経済成長至上主義が時代錯誤になっているという文より, 経済成長を追求する先進国に対して意見などを書く。(520字)
東京都立大・人文社会 人間社会(前)	和	文	政, 法	イデオロギーと感情の分極化がアメリカ政治に影響を与えているという文より, 分極化への対処法などを書く。(1200字)
人間社会(後)	英	文	人, 教科	時間は取り返しのつかない資源であり有意義に使うべきだという英文より, 経験を得ることの意義などを書く。(500字)
東京都立大・都市環境 観光科(後)	和	統	社	神社と寺院の参拝客数の推移など6つの図より, 観光需要の偏りが観光地に対して引き起こす問題などを書く。(950字)
横浜市立大・国際商 国際商(前/A) 国際商(前/B)	和	文, 統	経	経済成長には価値が重要だという文と図より, 日本における経済成長達成のために必要な手段などを論じる。(775字)
横浜市立大・国際教養 国際教養(前/A) 国際教養(前/B)	和	文	社	数字によって管理された教育や社会の問題点を危惧する文より, 「筆者の考え」に対する考えなどを述べる。(600字)
山梨大・生命環境 地域社会システム(観光政策科学特別)(前)	和	文, 統	法	裁判員制度に関する記事と運用に関する意識を示す図表より, 裁判員制度に対する自身の評価などを書く。
長野県立大・グローバルマネジメント グローバルマネジメント(前/B) グローバルマネジメント(中)	和	文, 統	人, 社, 医, 生	日本の健康格差の要因における様々な調査結果を示す文と図表より, 健康格差を縮小する対策などを述べる。(900字)
	和英	文, 統	社, 教科	議会や公共部門雇用におけるジェンダーの平等に関する文と英文・図より, 平等を推進する方法などを述べる。(600字)
新潟大・法 法(前) 法(後)	和	課	人, 教育	学級の一部の生徒の問題行動で学級全体が連帯責任を求められた例を示す文より, 自分の考えを論じる。(1000字)
	和	課	経	ある市の発展に伴い進出してきた大型店と既存の小売店との関係をどう構築すべきか, 市長の立場から論じる。(1000字)
公立小松大・国際文化交流 国際文化交流(前)	和	文	文, 人	脱固有文化を主張するディアスポラを述べた文より, グローバル社会はどのように発展すべきかなどを書く。(520字)
	英	文	文, 教科	イラン人として国際会議に出席した人に起きた辛い問題を述べた英文より, 問題解決に必要なことなどを書く。(600字)
国際文化交流(中)	和	文	文	日本文化とは何かを論じた記事より, 日本・日本人・日本文化を理解するうえで重要な視点などを述べる。(450字)
	和	文	環	人間を凌駕するハイパーオブジェクトを説明する文より, 地球環境が不確実な今, 持つべき姿勢などを述べる。(500字)

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
福井県立大・経済 経営(後) 経済(後)	和	文	環	脱炭素化により今後雇用がグリーン・ジョブへ移行するという文より、そのために求められることなどを書く。(800字)
岐阜大・社会システム経営学環 (前)	和	文	経, 教育	情報生産性が高い人材の育成が重要だという文より、異見を生み出すような集団にするための工夫などを書く。(480字)
	和	文	社	地域が持続可能に維持できる移住者の受け入れが必要だという文より、限界集落を復興させる方法などを書く。(480字)
静岡大・人文社会科 法(後) 経済(後)	和	文	法	市民に身近で使いやすく頼りになる司法制度の必要性を述べた文より、司法制度改革への考えなどを論じる。(850字)
	和	文	政, 経	社会主義と資本主義のシステムの違いを論じた文より、税収の減少に対する対処法について考えなどを書く。(850字)
静岡大・グローバル共創科 グローバル共創科(後)	和	文	社	現代では社会規範に従順になることが合理的だと述べた文より、統計が力を持つことへの評価などを書く。(1000字)
名古屋大・法 法律・政治(前)	和	文	政, 法	陪審制・裁判員制度は民主主義の質を高めるという文より、現在の日本の民主主義について考えなどを書く。(1000字)
名古屋市立大・人文社会 現代社会(後)	和	文	人	ナラティブ思考の特徴や効果を説明する文を読み、擬人的な思考によるアプローチの是非などを述べる。(800字)
	和	文	人, 環	地球環境に優しい商品を意識して買うことと消費に関する文と図より、消費社会の問題への対処などを述べる。(800字)
京都府立大・公共政策 公共政策(後) 福祉社会(後)	和	文	経, 社	人口減少と高齢化で進む都市経済の問題を危惧する文より、これからの都市経済に重要なことなどを述べる。(1000字)
	和	文	社	日本社会においてヤングケアラーは不利な状況にあるという文より、ヤングケアラーの支援方法などを述べる。(800字)
	和	統	人, 政, 社	コロナが人々に与えた影響の調査結果を示す文より、新興感染症の流行時の対策で考慮すべき点などを述べる。(800字)
大阪公立大・法 法(後)	和	文	政, 社, 科	パンデミック期間の政治のあり方を論じた文より、筆者が述べる政策の決め方について説明などを行う。(800字)
	和	文	法, 社	AIが普及した社会における法意識を論じた文より、法の領域が縮小するという筆者の見解の説明などを行う。(700字)
大阪公立大・現代システム科学域 教育福祉学類(前)	和	文	人	現代社会における価値観の多様化を述べた文より、相対主義の問題点克服のためにすべきことなどを述べる。(800字)
	和	文	法	「こども基本法」から抜粋した文より、子ども施策において生じている問題の対策に対しての意見などを書く。(800字)
神戸大・法 法律(後)	和	文	福, 社	社会保障の説明や地域単位での取り組みを説明する文より、今後見いだされる積極的意義や課題などを述べる。(1000字)
神戸大・国際人間科 グローバル文化(後)	和	文	人	見日作家の筆者が言葉とアイデンティティを考察する文より、文化の所有について自身の見解などを述べる。(1500字)
神戸市外国語大・外国語 国際関係(後)	和	文	人	交換の論理を採用する社会では人に助けを乞えなくなるという文より、自由な社会とは何かなどを述べる。(1200字)
公立鳥取環境大・経営 経営(後)	和	文	環	分配の公平性とは何かを論じる文より、放射性廃棄物の最終処分場の候補地選定について考えなどを書く。(680字)
鳥取大・地域 地域(地域創造)(前) 地域(地域創造)(後)	和	文	社	地方創生を実現させる発想の転換を述べた文より、自身の地域の経済を発展させるための処方箋などを論じる。(1100字)
	和	文	社	地域課題には当事者以外のかかわりも必要だという文より、地域課題を挙げその解決のための活動などを書く。(1100字)
広島市立大・国際 国際(後)	和	文	人, 科, 医	数値による予測が支配する社会・個人に責任が帰される社会などを述べた文より、社会が抱える問題を論じる。(1000字)
下関市立大・経済 経済(前/A) 国際商(前/A) 公共マネジメント(前/A)	和	文, 統	経, 社	主たる財源を消費税に求め続けると格差が広がるという文と図より、消費税増税に対する意見などを書く。(700字)
	和	文, 統	経, 社	主たる財源を消費税に求め続けると格差が広がるという文と図より、消費税増税に対する意見などを書く。(700字)
	和	統	人, 社	地域別のテレワーク実施率などを示す10の図より、今後テレワークが普及するか否か考えなどを書く。(850字)
周南公立大・経済経営 経済経営(中)	和	文	人	子どもたちに必要な教育は協調性より社交性だという文より、コミュニケーション能力のとらえ方などを書く。(800字)
	和	統	社	周南市の人口推移などを示す図表より、考えられる課題やその課題を解決するための取り組みなどを述べる。(800字)
香川大・法 法(後)	和	文	人	科学的思考は体で覚える事により体得できると述べた文より、自身が重要だと考える知識観や思考などを書く。(800字)
	和	文	環	核のごみ処理方法や処理地選択の問題を説明する文より、処分場の立地選定基準について考えなどを論じる。(700字)
香川大・経済 経済(後)	和	文, 統	経	日本のインフレの仕組みを説明する文と5つの図より、日本経済にとって望ましい物価のあり方などを述べる。(1100字)
愛媛大・法文 人文社会(後)	和	文	人	役に立たない活動から発見が生まれる可能性があるとして述べた文を読み、無益なものに対する考えを書く。(500字)
	和	文	社	島は孤立性と交通性・閉鎖性と開放性を同時に持つという文より、四国の可能性と課題について考えを述べる。(500字)
高知大・人文社会科 人文社会科(社会科学)(前/A) 人文社会科(社会科学)(前/B)	和	文	文, 社	東京とソウルの同世代が感じる不平等を述べた文より、日本で女性枠を導入することについて賛否などを書く。(1050字)
北九州市立大・法 政策科(前) 法律(前)	和	文	教育	隠蔽されてきた学校の目的への批判を論じた文より、学校制度に潜む格差を正当化する仕組みなどを述べる。(830字)
北九州市立大・経済 経営情報(後) 経済(後)	和	文	人, 社, 自己, 保	ダイバーシティが組織のパフォーマンスに与える影響を説明する文より、自身の同じような経験などを論じる。(1100字)
北九州市立大・地域創生学群 地域創生学類(前)	和	文	社, 環	日本のコンパクトシティ議論の経緯を説明する文より、実現化に向けて地域社会に生じる課題などを論じる。(400字)
九州大・経済 経済・経営(後)	英	文	経, 教科	多くの国で汚職が経済成長を妨げているという英文より、それをどう最小限に抑えられたのか説明などを行う。(580字)
	英	文	経, 教科	満足感を経済的意義より社会的意義によってもたらされるという英文より、そう言える理由などを説明する。(520字)
経済工(後)	和	文	自然, 教科	確率統計の理論を確率変数や確率関数の例などを用いて説明する文より、様々な確率の証明問題などに答える。

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
福岡県立大・人間社会 公共社会(前) 社会福祉(前)	和	文, 統	社, 教育	ヤングケアラーの背景などを説明する6つの文と4つの表より、ヤングケアラーの実態と課題などを書く。(800字)
公共社会(後) 社会福祉(後)	和	文, 統	社	ジェンダー感の変化などを述べた9つの文と図表より、性の多様性が尊重される社会に必要なことなどを書く。(800字)
福岡女子大・国際文理 国際教養(後)	和	文	政, 社	民主的な政治体制を考察する文を読み、ジェンダーの視点からみた日本の政治の問題点などを述べる。(1200字)
佐賀大・経済 経済(後) 経営(後) 経済法(後)	和	文	人	業績主義の社会への影響を説明する文より、それが持つ負の側面を改善するための社会的な対応策などを書く。(850字)
長崎県立大・経営 経営(後)	和	文	人, 経	リスクリングが経済の成長のカギだという文と図より、組織と個人の成長につながるリスクリングなどを書く。(1200字)
長崎県立大・地域創造 実践経済(後)	和	文	経	鉄道分野のダイナミックプライシング導入を述べた文と図より、交通分野の価格変動に対する考えなどを書く。(800字)
熊本大・法 法(後)	和	文	人	流言が伝播する仕組みととらえ方を述べた記事より、メディアを介する流布する情報との接し方などを書く。(1200字)
	和	文	人, 政	ケアを政治と結びつけて考える必要性を述べた文より、ケアを通した民主主義の再定義の可能性などを論じる。(1200字)
熊本県立大・総合管理 総合管理(前/A) 総合管理(前/B)	和	文	政	近年の日本の投票率の低さに対する対応を述べた文より、筆者が指摘していることについて説明などを行う。(150字)
	和	統	政	世界各国の投票率などを示す3つの図表より、日本の投票率を高めるための対策について考えなどを書く。(400字)
	英	文	政, 教科	民主的市民権は重要であると同時に稀であると述べた英文より、和訳や内容把握問題などに答える。
総合管理(後/A) 総合管理(後/B)	和	文, 統	科, 教育	学生の学力を示す表と教育における生成AIの利用などを論じる和文と英文より、今後の教育などを論じる。(700字)
大分大・経済 総合経済(後)	和	文, 統	社	男女の賃金格差・役職の割合や年収差などの文と図より、日本の男女間賃金格差をもたらす背景などを述べる。(800字)
大分大・福祉健康科 福祉健康科(社会福祉実践)(前)	和	文	人	人は不幸には過敏で幸せには鈍感であるという文より、保健・医療・福祉の対象者の幸福感について述べる。(600字)
	和	統	福, 社	地域子育て支援拠点を利用する前の子育て状況を示す図より、子育て家庭に必要な支援について考えを述べる。(500字)
福祉健康科(社会福祉実践)(後)	和	文	科	生成AIの普及と活用法を論じた記事より、AIの普及による医療の進歩や教育のあり方を述べる。(600字)
琉球大・人文社会 人間社会(前)	和	文	人, 科	「人それぞれ」という相対主義的な考え方を疑問視する文より、筆者の主張とそれに対する考えを述べる。(1200字)
国際法政(後)	和	文	社	マジョリティとマイノリティを意識する差別問題を論じた文より、「逆差別」論に対する考えなどを述べる。(1200字)
琉球大・国際地域創造 国際地域創造(前/論理的)	和	文	人	積極的な競争論と懐疑的な競争論を論じた文より、2つの主張が平行線をたどる理由や解決法などを述べる。(1200字)
国際地域創造(後/国際的)	英	文	社, 教科	図書館の利用用途に関する英文記事を読んで要約し、本文のなかで自分が最も共感する図書館の役割を述べる。(1200字)
国際地域創造(後/論理的)	和	文	人	集団において同調圧力が生じる現象について述べた文を読んで要約し、筆者の主張に対する自分の考えを書く。(1400字)